

令和4年度 第1回学校運営協議会議事録

■実施日時:令和4年6月4日 9時30分~11時30分

■開催場所:府立淀川清流高等学校 校長室

■出席者:委員4名、事務局(校長、事務長、教頭、首席)

1. 校長挨拶

2. 委員自己紹介

3. 会長および副会長の選出

4. 協議

① 令和4年度 学校経営計画及び学校評価について

めざす学校像を昨年から変更した。シンプルかつスリムにした。「じりつ」を全面に出したことは校内の委員会で共有できている。本校が元々大切にしているものは何か、原点に戻る。北淀から大切にしていたのは生徒に寄り添って生徒を丁寧に見ていくことと中学校と連携して生徒指導を運んでいくことである。それが、北淀から淀川清流になってから緩んでいるのではないか。また、学校の持ち味を考えたときに、地域や中学校から求められていることは何なのか。エンパワメントスクールそれぞれが独特の持ち味を持っているので、生徒に寄り添うことと中高の連携を淀川清流の持ち味としたい。具体的には学校経営計画の5つの柱を大切にしていきたい。

② 卒業生(2期生)の進路状況について

進路指導の問題点は3年生になっても自分の進路を考えられない生徒がいる。1・2年からもっと意識づけをしていかないといけない。進学は淀川清流になってから少し増えた。進学81名中、大学が23名、短期大学が2名、専門学校が48名。大学進学は基本的に指定校か総合型選抜(昔のAO)、一般で受けるのは毎年1名か2名。

就職について、69名就職したうち、62名が学校斡旋就職、求人票は1000以上あった。コロナ禍で減った時期もあったが、今年は求人が増えた。去年はコロナで企業訪問をしていないが、今年は再開し、100社程度訪問した。今年度の就職希望者は約70名で例年とあまり変わらない。二次三次と最後まで頑張った生徒は内定をいただいている。コロナ禍でオンライン面接やオンラインでの応募前職場見学を実施する企業もあり、煩雑であった。就職定着率という意味では、企業訪問している感覚では、よく続けてくれている。しかし、離職している卒業生がいるのは事実。自分と向き合って考えられず、安易に辞めてしまっている。

③ 生徒指導について

遅刻欠席について、平成29年度までは北淀の数値。平成30年からは淀川清流の数値である。遅刻は順調に減っており、特に淀川清流に統合した時期から遅刻指導に力をいれおり成果がで

ている。令和2年、3年と遅刻数が減少したのでこのまま減少傾向であるとよい。欠席は淀川清流になってから横ばい状況であったが、昨年、一昨年と比較すると今年は増加傾向である。その要因は長期欠席が多いことである。さまざまな事情で進路変更を考えている生徒が長期欠席となっている。遅刻・欠席については、府内の高等学校の中では多い方。遅刻の4000~5000件は他校でもあるが8000件の欠席は多い。生徒指導部でも欠席の指導に力を入れるべきであると思案している。また、進路変更を希望する生徒に対しては、生徒指導だけではなく、進路指導の観点からも指導できるよう改善していきたいと考えている。今年度に入り、いじめ事案等でも対応もあり、生徒指導は困難な状況である。

頭髪指導も過去から続けており、頭髪に乱れがある生徒については適宜声をかけている。また、自転車などの登校についても立ち番を決めるなどして見守りを行っている。今年度、通学のマナーについて地域からのご指摘は今のところないが、公園の利用の仕方でのご指摘が1件あった。

④ 1年生の状況

入学してから2か月たったが、中学校とは違い、自分の立ち位置に迷いがあるようであったが、慣れてきた様子。人間関係で不一致があり、トラブルが増えてきたように思う。北淀のときより授業を受ける態度がよくなったが、家庭状況など背景は同じ。SNS を通じてのコミュニケーションが増えている。トラブルが若干報告されているので心配。学習に不安を抱えていながら人間関係での不安が出ると気持ちや学校生活不安定になり、進路変更につながらないか心配。

⑤ 1・2年生 アンケート結果

中学校の先生から薦められて入学した生徒が3割程度、これまでより強化して中学校への広報活動を行う予定。また、やはり、エンパワメントスクールであるため基礎から勉強ができることに魅力を感じて入学した生徒が多い。特に、5期生は7割程度の生徒がそのように回答した。エンパワメントスクールは SC や SSW 体制が充実しているが、これらを魅力に感じて入学する生徒が少ない。本校の特徴であるため、SC や SSW が充実した体制の魅力の中学生にアピールしていくことで本校への入学希望者が増えることを期待したい。学校生活に期待と意欲をもって入学した生徒が多い一方で、「自分を好きですか」という質問に対して肯定的な回答をした生徒が少ない。また、人付き合いに対して聞いた質問でも肯定的な回答が少なかった。

⑥ クラブ活動状況について

年々、運動部が減ってきている。文科系は減少率低い。全体として、部活をする生徒は減った。クラブ紹介等は力をいれている。いくつかのクラブは部員がいない状況。せっかく入部してもすぐにやめてしまう。筋力トレーニング部は唯一部員が多い。フォークソング部は依然頑張っていたが、部員減った。クラブが生徒の居場所になればよいが、そうっていない。アルバイトをする生徒が多くなっている。クラブによっては毎日活動をするのではなく、アルバイトもしながら部活をできるよう工夫

している部もある。部活よりもスマホの普及により、楽しいものが増えたことも要因ではないか。

⑦ 広報活動について

資料なし。中学校の先生方の影響力が大きい。そのため、広報活動に力を入れたい。4回やっていたオープンスクールを3回に。7月のオープンスクールは参加者が少ないため、それを中学校訪問に変更。中学校教員向けのパンフレットを作り、中学校の先生からの薦めに期待する。校長としても中学校に訪問している。出前授業の依頼も増えている。

5. 本年度の学校運営協議会日程について

第2回 10月29日(土)9:30より、授業アンケート結果、学校生活全般中間報告など

第3回 未定、学校教育自己診断結果、次年度学校教育計画及び学校評価など